



No. 62

令和7年3月発行

【発行元：不登校対策推進委員会】

## パルクはあとラウンジ

「パルクはあとラウンジ」とは、子どもたちが社会的自立に向けた力を蓄える場所、心の休憩所という意味です。「学校へ行くのに少し疲れた」「学校以外で勉強や運動、好きな活動がしてみたい」という小中学生が通うところです。退職された先生やスタッフが担当して、やさしく教えてくれます。今年度から、パルクとよたへ通うことが、遠距離で難しい児童生徒のために、「ほみ」・「あすけ」を開設しました。見学のご希望がありましたら、学校へご連絡ください。

### 「ほみ」



### 「あすけ」



#### どこでやるの？

「ほみ」・・・豊田市教職員会館の研修館2階の部屋を借りて活動を行います。

「あすけ」・・・足助支所の別棟の2階の部屋を借りて活動を行います。

#### 毎日行かなければいけないの？

「ほみ」...毎週火～金曜日に開かれます。(月・祝日休み)

「あすけ」...毎週月～金曜日に開かれます。(祝日休み)

入室と退室時間は、自分で決めることができます。

#### 一日の日課は？

朝9時15分から始まり、45分の取組を午前中3コマ、午後2コマ行います。

午後2時45分には帰ります。

給食はないので弁当持参です。

#### 何をするの？

自分で勉強や運動をしたり、好きな活動をしたりします。学習用タブレットを活用して、活動することもできます。どんな活動をするのかは、スタッフと相談しながら自分で決めることができます。

「ほみ」・・・近くの施設を借りてスポーツなどをすることもあります。

「あすけ」・・・観光地ならではの地域と関わる活動も少しずつ始めています。

パルクはあとラウンジ「ほみ」「あすけ」「なんぶ」「しもやま」「ふれあい」「ひだまり」に興味がある人は、担任の先生か教頭先生に相談してください。

豊田市青少年相談センター（パルクとよた）住所：豊田市栄町1-7-1

電話：(0565)32-6595



# 教えて！堀先生！！



今回は心理の専門家である堀スーパーバイザーに、不登校の子をもつ保護者の方たちから寄せられた悩み、疑問などに答えていただきました。

## 堀 英太郎（臨床心理士）

大学院卒業後、病院や学校でカウンセラーとして、悩みを抱える子どもたちやその保護者の方の相談に携わってきた。現在は、パルクとよたのスーパーバイザーとして、スクールカウンセラーなどへの助言を通して、子どもたちが抱える悩みと向き合っている。

学校の先生も忙しそうで、子どものことを相談しづらいです。最近はフリースクールもありますが、学校以外のどのようなところに相談していけばよいでしょうか。



たとえばパルクはあとラウンジやフリースクール等など、子どもたちの居場所は広がっていますね。学校の先生方はお忙しそうかもしれません、ぜひ先生方と一緒に考えていただければと思っています。

このように、保護者の皆様方と学校とが連絡を取り合うことで、お子さんの「所属感」が維持されます。人にとって「どこかに所属している」という「所属感」は、何よりの安心をもたらすものかと思います。



家で動画ばかり見ています。学校に行かないとき、家でどのように過ごさせるといいのか迷っています。



やはりルールは大切ですよね。

私は、「周りがこうしているから」ではなく、「我が家の憲法」を作っていただくことをお勧めします。しかも、約束は守られてこそ意味がありますので、お子さんと一緒に実行可能なルールを考えられるとよいかと思います。

そして私たち大人は、ついつい心配になって口を出したり先回りしたりしがちですが、「待つこと」も大切にしたいですね。こうして、少しずつ自信が育っていくでしょう。

## ラポール体験活動

今年度も昨年度に引き続き、11月19日（火）にT-FACE A館8階にある「UNIBO(ユニボ)」へ遠足に行きました。子どもたちはバーチャルアクティビティーやeスポーツ、3Dデザインなどの最新技術を体験して、楽しい時間を過ごしました。



### 参加者の感想

- ・昨年も参加するつもりでしたが、当日参加できませんでした。今年は参加できたので、うれしかったです。（児童）
- ・子どもの得意なことが活かせるのでうれしいです。こういう施設が豊田市にあってよかったです。（保護者）